



## 「今、ここ」を大切に生きる

校長 鶴田 欽也

春分も過ぎ、風の暖かさと日の光の明るさに春を感じる季節となりました。臨時休業中の3月11日に卒業証書授与式を挙行了しました。本年は、小学部2名、中学部2名、高等部普通科2名、高等部保健医療科1名、専攻科医療科1名の計8名の児童生徒が卒業しました。さまざまな制約がある中、当日はステージ上で一人ひとりに卒業証書を手渡すことができました。

## ■ 式辞（抜粋、一部修正）

令和最初の卒業生である皆さんへ贈ることばとして「『今、ここ』を大切に生きる」ということばを贈ります。皆さんは、苦しいときや失敗したときなどに「今、自分が苦しいのは、あの人のせいだ」とか「自分が失敗したのは、あのことのせいだ」などと、うまくいかない理由を他の人や他のことのせいにしたことはありませんか。本当はすべて自分に責任があるのに、楽をしたいという思いが先に立って、自分の外に原因を探し出し、理由にならない理由をつけて周囲のせいにし、自分の失敗や苦しさを否定し、自分を納得させようとする場合があります。言い換えると、今、自分が負うべき責任から逃れようとする場合があります。

このような考え方は、現在を否定する生き方、今の自分を受け容れない生き方ではないでしょうか。私たちの毎日の生活は、今という一瞬一瞬がつながり、連続して成り立っています。であれば、今という一瞬一瞬を大切に、「今、ここ」にある自分を大切にしながら、ベストを尽くしていけば、素晴らしい一日、一週間、一年になると思います。理由にならない理由をつけて、今の自分から逃げるのではなく、「今、ここ」にある自分をありのままに受け容れることが大切だと考えます。

では、どのようにすれば、「『今、ここ』を大切に生きる」ことになるのでしょうか。私なりの答えは、「自分の身の周りのあらゆることに対して関心を向け、あらゆることに対して手を抜かず、全力を尽くす」ことだと考えます。

私たちは、しばしば「忙しいから〇〇ができない」とか、「〇〇さえしておけばいい」という物言いをします。これは、忙しさを口実にしたり、全体ではなく一部にのみ特化したバランスを欠いた考え方であり、責任を回避する生き方ではないでしょうか。毎日の生活の中で投げやりな姿勢にはならず、あらゆる事柄に対して関心を向け、全力を尽くす——こういう生き方をすることこそが、「『今、ここ』を大切に生きる」ことになると思います。

大変な時代だからこそ、現状から逃れようとするのではなく、自分の足元を固め、「今、ここ」を大切に生きてほしいと心から願っています。

## ■ 1年間ありがとうございました

最近、何人かの方から「『白い杖』読んでますよ」とのお声かけがありました。拙文ながら読んでくださっているとは、恐縮至極、望外の喜びでもあります。盲学校のことをちょっとでも知っていただけたらとの思いで、1年が過ぎました。1年間本当にありがとうございました。

## 【令和元年度 学校評価計画について】

学校評価計画結果は3月25日より盲学校ホームページでご確認いただけます (<https://www.education.saga.jp/hp/mougakkou>)。今年度は「夢をはぐくみ 未来をひらく盲学校」をスローガンとして、社会的自立に向けた力の育成、研究・研修の充実と力を引き出す授業の実践、視覚障害教育センター的機能の充実と周知に取り組みました。今年度も学校評価計画の評価作成にあたって、保護者及び学校評議員の皆様方から、たくさんの貴重なご意見をいただきました。そのご意見をもとに、佐賀県立盲学校をより良い学校にするため、職員一同、がんばっていききたいと思います。

# 幼小小学部

新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休校のため、予定していた卒業生を送る会は実施できませんでした。そこで簡単なお別れの時間をもちました。6年生の二人から、「ありがとう」の曲にのせて、下級生や先生方への感謝の言葉と、手作りのティッシュケースのプレゼントがありました。下級生からは、6年生との楽しかった思い出が発表され、寄せ書きが送られました。最後に全員で「Wish～夢を信じて～」を合唱しました。感動的な歌詞と美しい歌声が響きました。

卒業式は、在校生の出席はありませんでしたが、心を込め、二人の門出を祝いました。



# 中学部

## 【卒業生を送る会】

3月2日(月)6校時に、3年生の教室で卒業生を送る会を実施しました。今年度は、在校生から卒業生へのメッセージ、卒業生から在校生へのメッセージ、記念撮影の内容を行いました。卒業生に対してのはなむけの言葉、在校生に向けての感謝の言葉がとても印象的でした。

## 【卒業式】

3月11日(水)に卒業式が開かれました。中学部の卒業生は女子2名でした。2名とも本校の高等部普通科への進学となります。今後も卒業生の今後の活躍を期待し、見守っていききたいと思います。



# 高等部

## 【あはき師国家試験】

2月22日・23日、第28回あん摩マッサージ指圧師・はり師・灸師の国家試験が本校を会場にして実施されました。本校の専攻科理療科1名、保健理療科1名が受験しました。3年間学習した成果を出し切って良い結果に結びつけてくれることと期待しています。

## 【祝卒業】

今年度は高等部普通科より2名、保健理療科より1名、専攻科理療科より1名の合計4名が卒業しました。4名とも本校を離れ、新たな生活が始まります。卒業生の皆さんの未来に幸多かれ！



# 寄宿舎

寄宿舎では3月9日に行われる予定だった「卒業生を送る会」に向けて、実行委員会を中心に準備を行っていました。今年度は半数以上が卒業ということもあり少ない人数でしたが、話し合いを重ね、それぞれが思いを込めて準備を進めていました。横断幕の作成では舎生のアイデアをもとにみんなが役割を果たして立派なものを作りあげることができました。



臨時休校のため、残念ながら実施することはできませんでしたが、みんなの思いは卒業生に届いていると思います。

8名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？  
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。  
相談は無料です。秘密は厳守します。  
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校  
目の支援センター  
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672